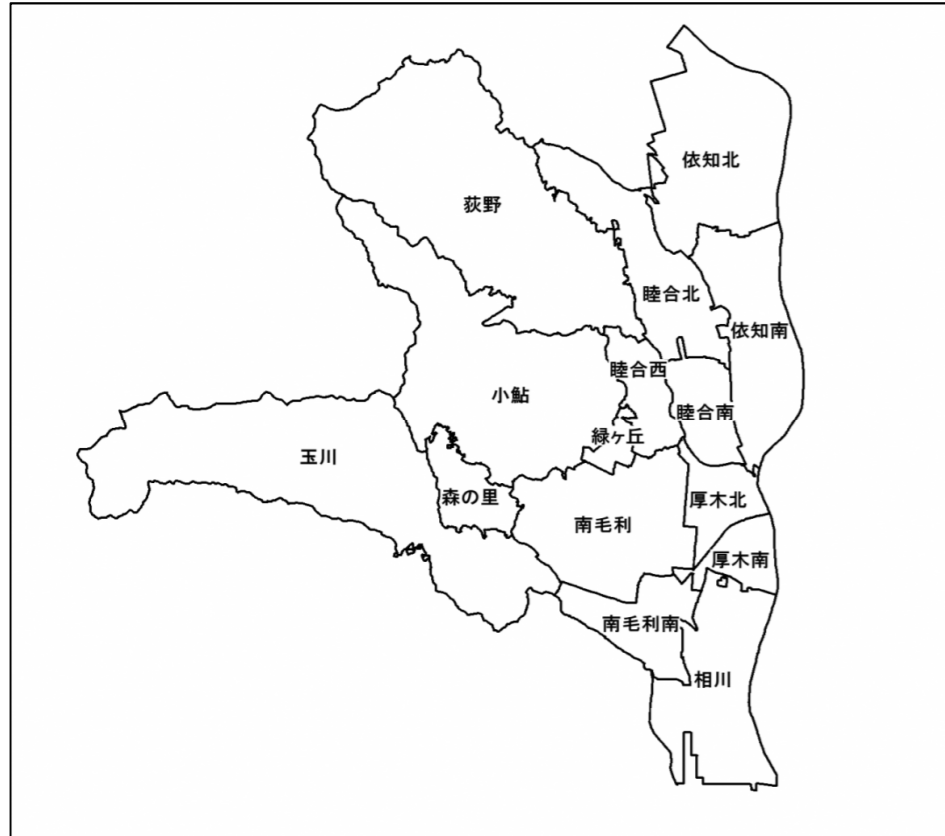


◆地震被害想定調査結果<都心南部直下地震>:市全体

※分布図の図面は、50m×50mのメッシュで作成しています。

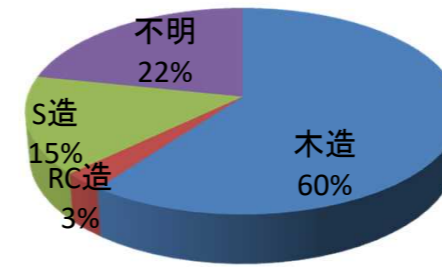
①地区割り(15地区)



②厚木市全体

人口: 225,194 人
世帯数: 98,638 世帯
建物数: 85,867 棟

建物割合:



※人口は、H30.4.1現在
※建物数は、H29.1.1現在
※RC造:鉄筋コンクリート造
※S造:鉄骨造

③地震被害調査結果(都心南部直下地震)

建物被害は地震発生による揺れ、液状化、急傾斜地の崩壊により被害をうける建物の数を示しています。火災被害の焼失棟数は地震の揺れによる火災で焼失する建物の数を示しています。

人的被害では建物倒壊、火災被害、ブロック塀の倒壊、屋外落下物、急傾斜地崩壊による家屋倒壊により発生する死者数、重症者数を示しています。避難者数は建物被害及びライフラインの機能支障により、避難する人数を示しています。

			市全体
建物被害	全壊	(棟)	1,105
	半壊	(棟)	6,146
火災被害	焼失	(棟)	325
	死者	(人)	72
人的被害	重症者	(人)	33
	避難者	(人)	18,573

◆想定地震(都心南部直下地震)

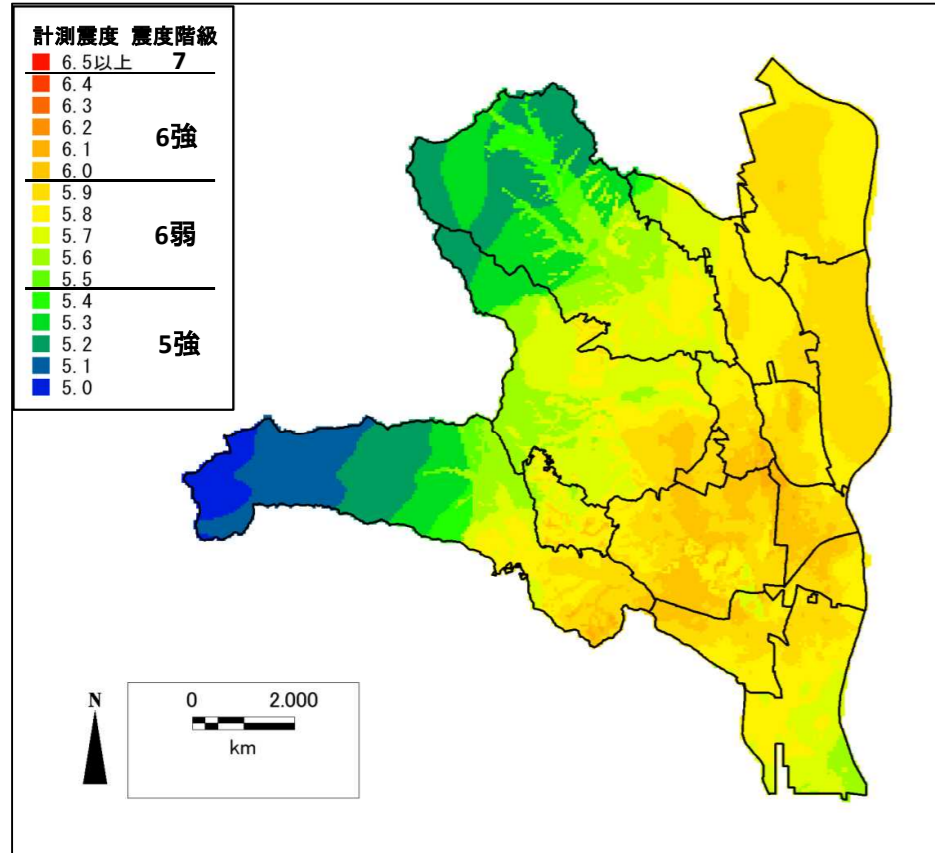
想定地震	モーメントマグニチュード	県内で想定される最大震度	発生確率	厚木の震度
都心南部直下地震	7.3	横浜市・川崎市を中心に震度6強	南関東地域のM7クラスの地震が30年間で70%	6強

都心南部直下地震はモーメントマグニチュード7.3で発生確率は30年間で70%と想定されています。厚木市では最大で震度6強と予測されています。

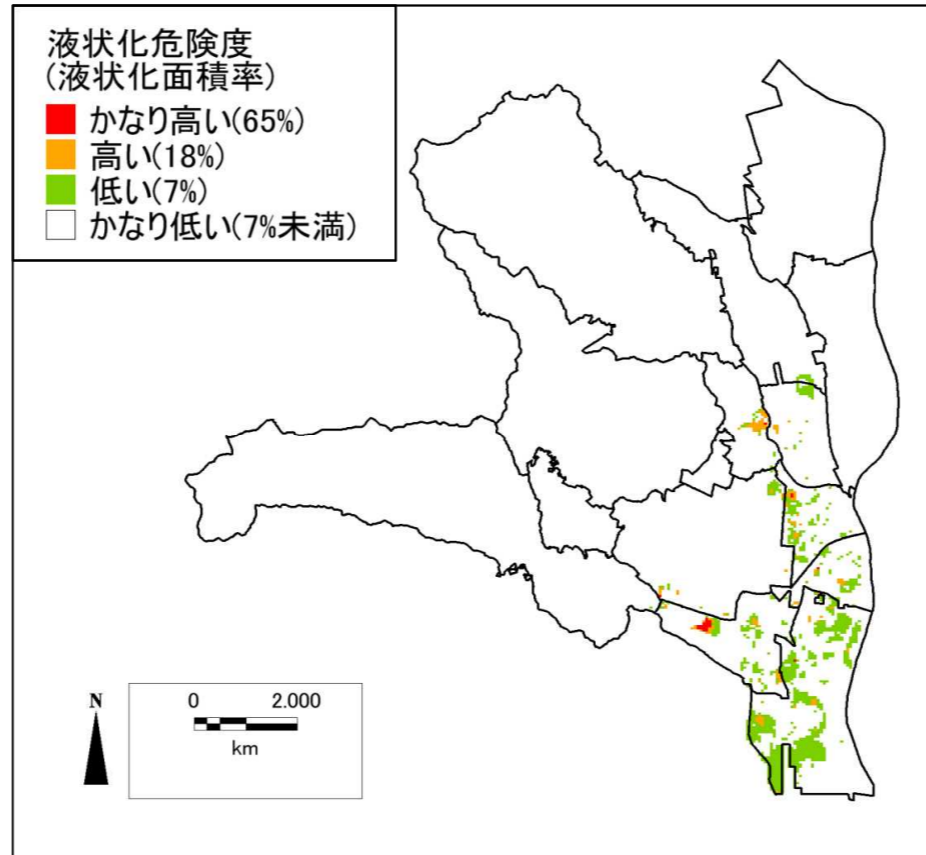
都心南部直下地震は東京湾北部地震にかわり、国が防災対策の主眼を置く地震としており、県内全域が「首都直下地震対策特別措置法」の緊急対策区域に指定されています。

震度分布図	厚木市では全域で震度5強～6強と想定されています。特に市の中央で震度6強の強い揺れが予測されます。
液状化危険度	相模川下流域にかけて、液状化する可能性が高いと想定されます。特に市の南部の広い範囲で液状化の危険性が予測されています。
全壊棟数	建物が密集する厚木北地区、厚木南地区、南毛利地区で建物の全壊が想定されています。特に小田急線沿いの市街地にかけて全壊する建物が多く分布しています。

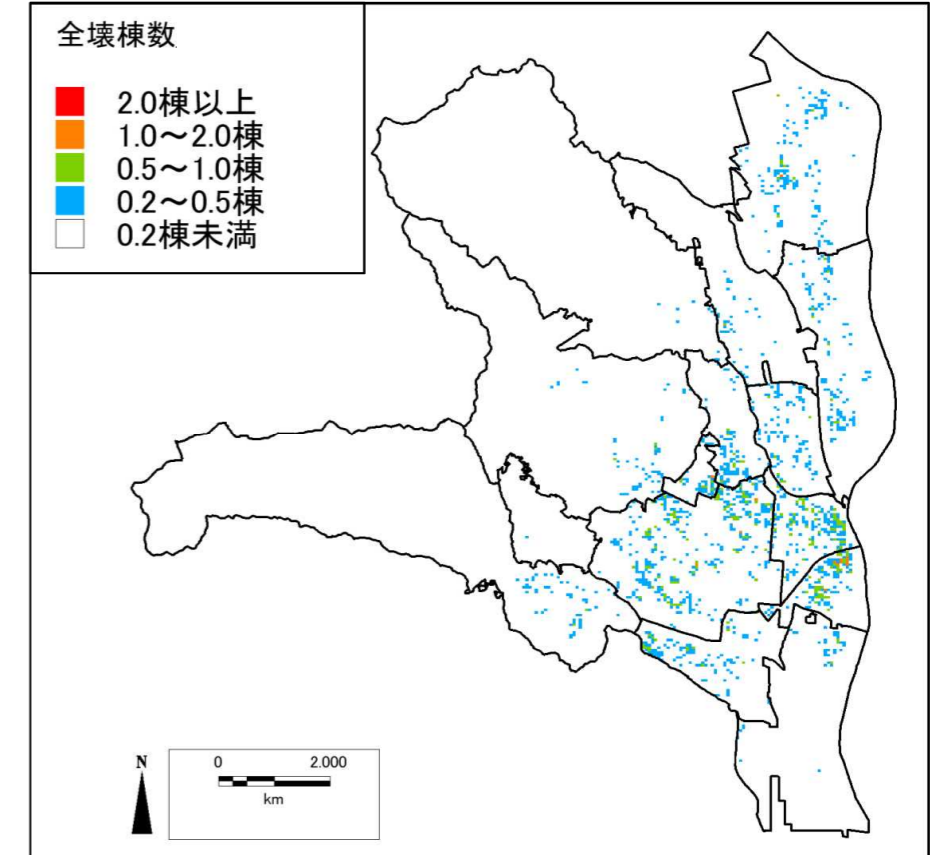
④<震度分布図>



⑤<液状化危険度分布図>



⑥<全壊棟数分布図>



◆地震被害想定調査結果<都心南部直下地震>:15地区

◆厚木市全体
 人口: 225,194 人
 世帯数: 98,638 世帯
 建物数: 85,867 棟

地区名	建物被害 (棟)				火災被害 (棟)		人的被害 (人)					
	全壊	割合	半壊	割合	焼失	割合	死者	割合	重症者	割合	避難者	割合
1 厚木北	102	9.2%	443	7.2%	6	1.8%	7	9.3%	3	10.1%	4,005	21.6%
2 厚木南	80	7.2%	358	5.8%	13	4.1%	5	7.2%	2	7.0%	1,672	9.0%
3 依知北	123	11.1%	700	11.4%	30	9.2%	8	10.9%	3	9.8%	919	4.9%
4 依知南	77	7.0%	438	7.1%	17	5.3%	5	6.5%	2	5.9%	467	2.5%
5 睦合北	46	4.1%	305	5.0%	23	7.1%	3	3.8%	1	4.3%	447	2.4%
6 睦合南	66	6.0%	403	6.6%	44	13.5%	5	6.5%	3	7.6%	2,087	11.2%
7 睦合西	52	4.7%	289	4.7%	19	5.7%	4	4.9%	2	5.2%	968	5.2%
8 荻野	39	3.5%	411	6.7%	42	12.9%	3	3.7%	2	5.3%	659	3.6%
9 小鮎	75	6.8%	513	8.4%	11	3.3%	5	6.5%	2	6.3%	740	4.0%
10 玉川	46	4.2%	253	4.1%	1	0.3%	3	3.9%	1	3.2%	257	1.4%
11 南毛利	243	22.0%	1,167	19.0%	81	24.9%	16	22.7%	7	22.1%	3,758	20.2%
12 相川	53	4.8%	343	5.6%	13	4.0%	4	6.0%	1	4.4%	1,059	5.7%
13 緑ヶ丘	26	2.3%	121	2.0%	7	2.1%	1	2.0%	1	2.1%	252	1.4%
14 南毛利南	71	6.5%	359	5.8%	13	3.9%	4	5.4%	2	5.4%	1,021	5.5%
15 森の里	6	0.6%	44	0.7%	6	1.9%	1	0.7%	0	1.3%	262	1.4%
合計	1,105	100.0%	6,146	100.0%	325	100.0%	72	100.0%	33	100.0%	18,573	100.0%

<被害が多い地区>

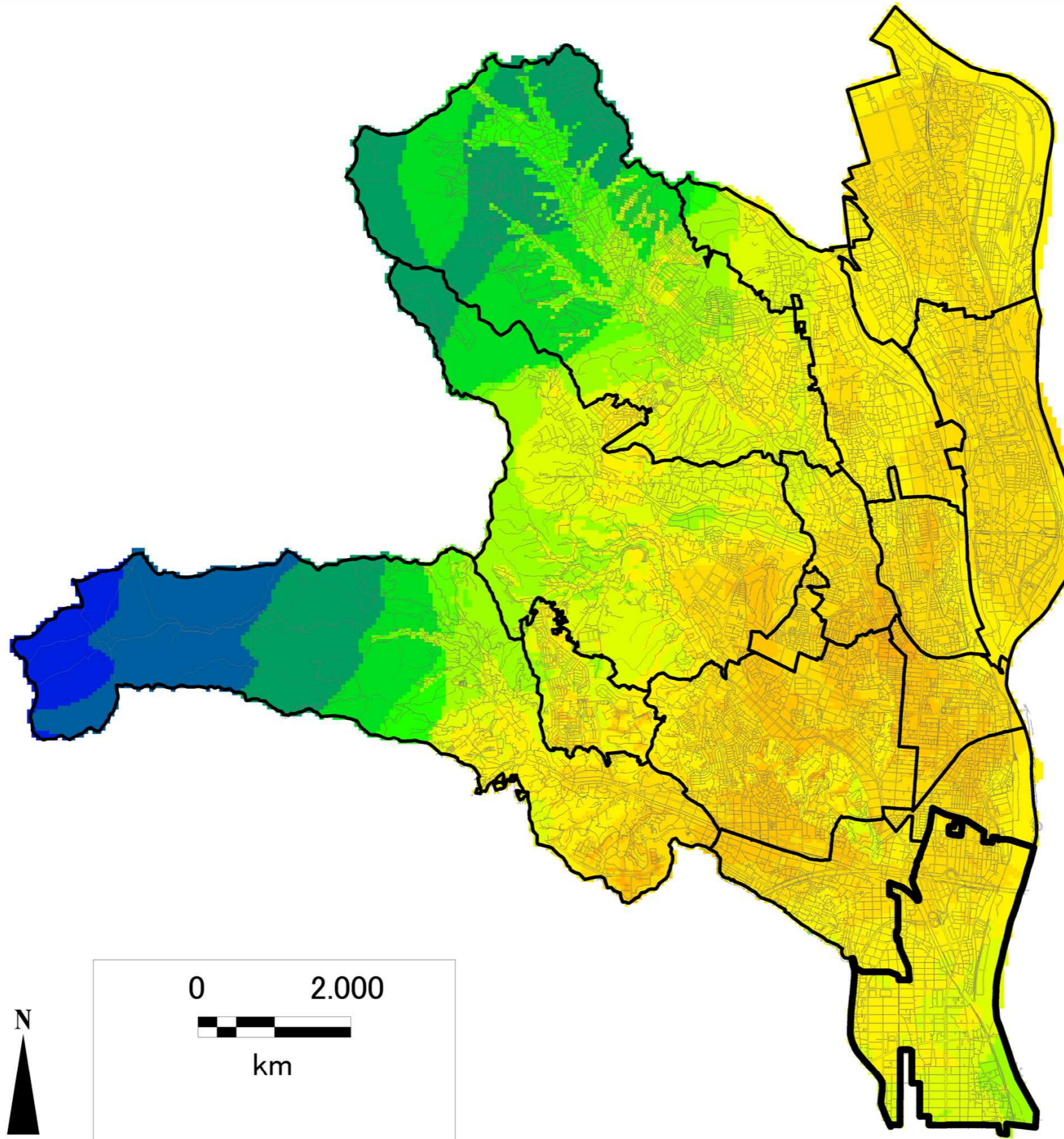
	建物被害(棟)			
	全壊	1,105	半壊	6,146
1 南毛利	243		南毛利	1,167
2 依知北	123		依知北	700
3 厚木北	102		小鮎	513

	火災被害(棟)	
	焼失	325
1 南毛利	81	
2 睦合南	44	
3 荻野	42	

	人的被害(人)					
	死者	72	重症者	33	避難者	18,573
1 南毛利	16		南毛利	7	厚木北	4,005
2 依知北	8		厚木北 依知北 睦合南	3	南毛利	3,758
3 厚木北	7		厚木南 ほか5地区	2	睦合南	2,087

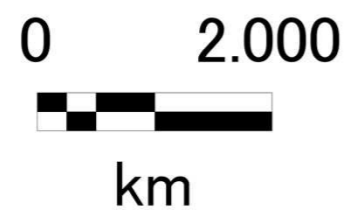
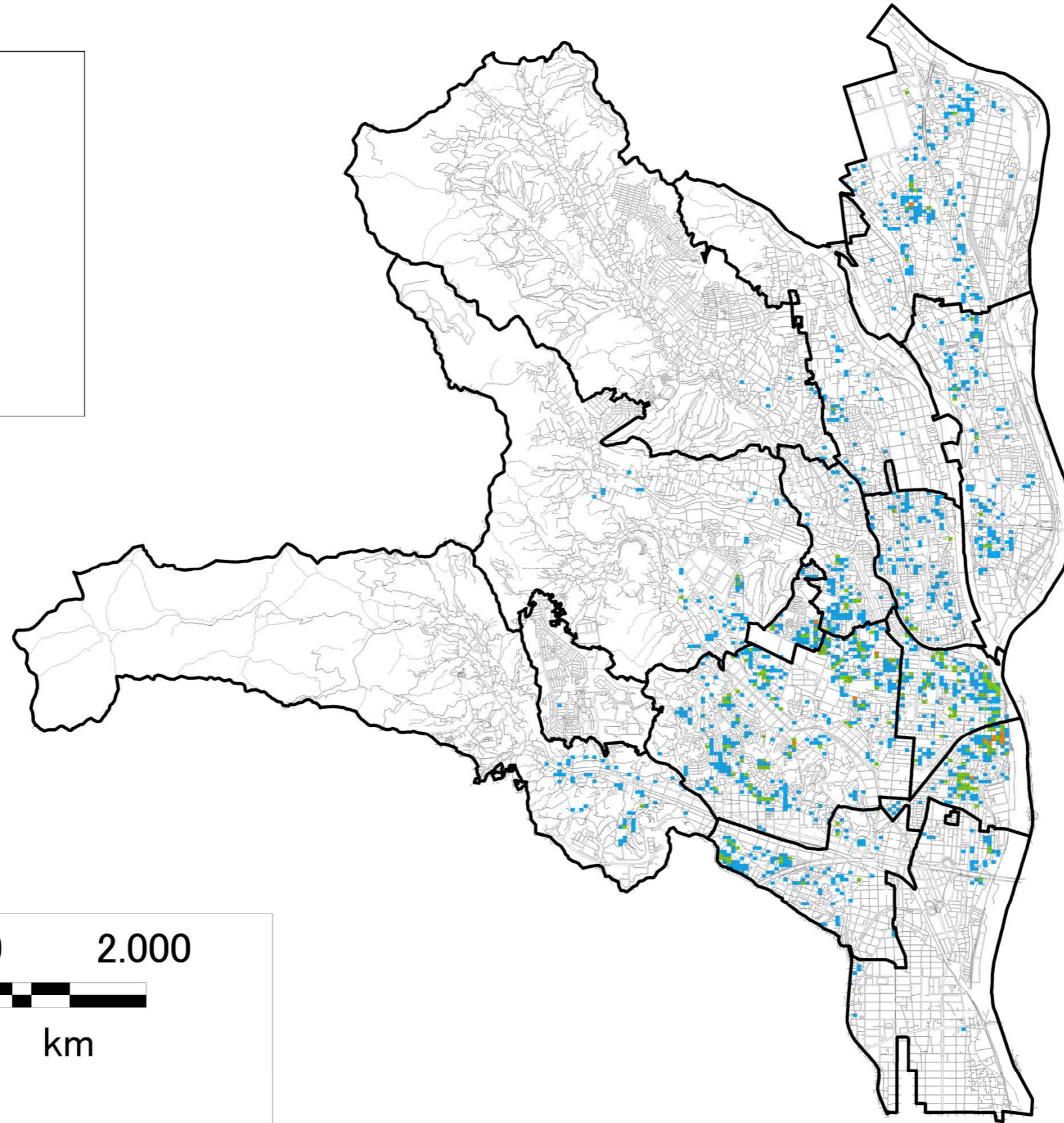
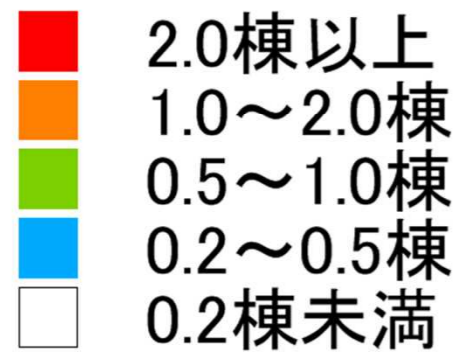
震度分布図(厚木市):都心南部直下地震

計測震度	震度階級
6.5以上	7
6.4	6強
6.3	
6.2	
6.1	
6.0	
5.9	6弱
5.8	
5.7	
5.6	
5.5	5強
5.4	
5.3	
5.2	
5.1	
5.0	



全壊棟数分布図(厚木市): 都心南部直下地震

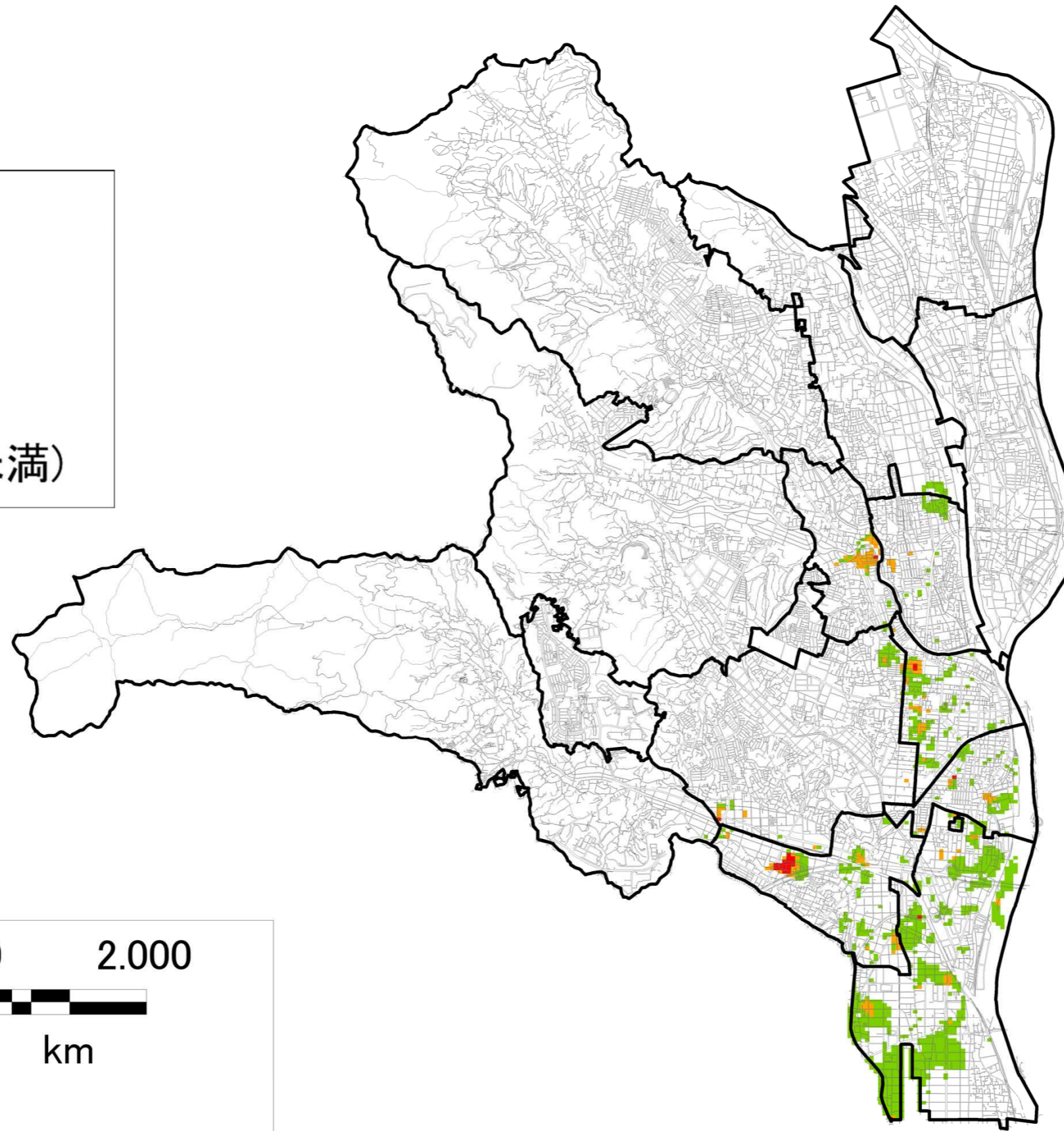
全壊棟数



液状化危険度分布図(厚木市):都心南部直下地震

液状化危険度
(液状化面積率)

- かなり高い(65%)
- 高い(18%)
- 低い(7%)
- かなり低い(7%未満)



0 2.000
km

A horizontal scale bar with alternating black and white segments, labeled '0' at the left end and '2.000' at the right end, with 'km' centered below it.

地区別防災マップ作成事業の概要

1 目的

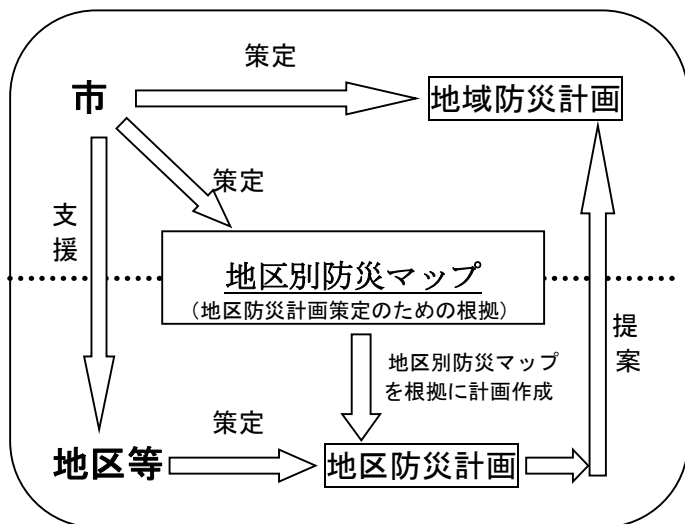
自主防災組織による活動地区ごとの防災・減災の指針となる「※地区防災計画」の自発的な策定に結びつけるため、その根拠となる市内15地区別の災害リスクや課題、対応策をまとめた「地区別防災マップ」を作成し、地域の更なる防災活動に結びつけることを目的とする。

2 計画の内容

現在調査を行っている「厚木市地震被害想定調査」や、県が新たに公表した「洪水浸水想定区域図」を基に今年度市で新たに作成した「洪水浸水ハザードマップ」、平成27年度に作成した「土砂災害ハザードマップ」など、災害種別ごとのデータが整ったことから、こうしたデータを活用し、災害種別ごとのリスクや課題、対応策について市内15地区別に「地区別防災マップ」を作成する。

3 地区別防災マップと計画の位置付け

当事業は、地域の自主防災組織等が行う自発的な防災活動に関する計画（地区防災計画）の策定を目的としたものである。



※地区防災計画とは…

災害対策基本法に基づき、市町村内の一定の地区の居住者及び事業者が共同して行う当該地区における自発的な防災活動に関する計画。

なお、本市地域防災計画には、平成27年度の改定に併せ導入。

4 地区別防災マップ作成の手順

これまでに市で得た災害種別ごとのデータを活用し、地区別の災害リスクや課題、対応策をまとめた「地区別防災カルテ」を作成した上、地区ごとに防災セミナーを開催した中で、詳細な対応策の検討や地区別防災マップなど、地域の意見を踏まえながら作成するもの。

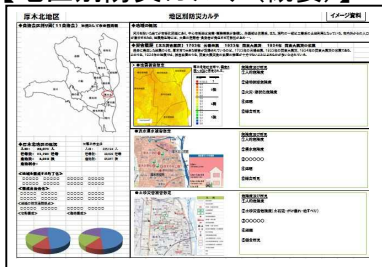
作成後は、地域での自発的な「地区防災計画」の策定に向けた取組を支援する。

5 地区別防災マップを構成する資料

【地区別防災カルテ(本編)】



【地区別防災カルテ(概要)】



市で作成 ← → 地区で作成(市と協働)

【地区別防災マップ】



6 策定スケジュール

災害リスク・課題の洗い出し	2019. 4月～7月
各地区防災セミナー	2019. 8月～10月
マップ作成・配布	2019. 11月～2020. 3月
地区防災計画策定の支援	2020. 4月～

7 今後の活用方法及び目標

地区別防災マップ（防災カルテ含む）を作成したことにより、災害種別ごとの対策が可能となることから、今後は地域における防災訓練等を通じた検証を行うなど、地区防災計画の策定に結びつける。

また、地域において災害対策に関する認識が統一されたことから、各家庭での防災対策をまとめた「家庭用防災マップ」の作成を目標に取り組む。